

令和8年度 入学式 学長式辞

新入生の皆さん、本日はご入学誠にありがとうございます。皆さんを今日まで支えて来られたご家族の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。本日こうして皆さんを迎えることができ、大学を代表して大きな喜びを感じております。

本学では、スポーツ、ダンス、健康、幼児教育といった、人の身体と心に深く関わる分野を幅広く学ぶことができます。一つひとつは違う分野に見えるかもしれませんが、「人を育て、人を支え、可能性を引き出す」という同じ思いにつながっています。

これからの大学生活の中で、皆さん自身が大きく成長すると同時に、社会に新しい価値を生み出す人へと育てていくことを、心から期待しています。

ここで、本学が大切にしている“学びの環境”について少し触れておきたいと思います。本学の特徴のひとつは、教育研究に必要な環境がすべてコンパクトな敷地に整えられていることです。移動の負担が少なく、授業、実技、研究のすべてがすぐ隣にあり、日々の学びに集中できる環境が整っています。

また、この距離の近さは、教員との関わり方の深さにもつながっています。授業後の相談やちょっとした会話が自然に生まれ、一人ひとりの疑問や悩みに丁寧に寄り添うことができる、-これは本学ならではの大きな魅力です。

さらに、学生同士が互いに助け合い、励まし合う文化が根付いているのも、本学の温かい風土を形づくっています。学科や学年を越えてつながりながら、ともに成長していく場がここにあります。

次にこれからの学びについて触れておきます。近年、AIやデジタル技術が急速に進化し、スポーツ指導や健康管理、教育のあり方も大きく変わりつつあります。データを使ってパフォーマンスを向上させたり、一人ひとりに合った学習が可能になったりと、さまざまな可能性が広がっています。

AIが示すデータは、確かに大切な“ヒント”になります。ですが、どれだけ精密なデータがあっても、人の表情のわずかな変化や、身体のこわばり、幼児の視線の向き、仲間のため息に込められた気持ち、こうした微妙なサインは、数字だけでは読み取れません。こうしたサインを読み取る力は、相手の動きをよく観察し、そのとき相手がどんなふうに感じているのかを丁寧に聞き取り、その感覚の意味を繰り返し考えていくことで身につけていきます。つまり、よくみて、よく聞いて、よく考えることが必要です。

皆さんがこれから学ぶスポーツ指導や幼児教育、ダンス、健康支援といった専門分野では、こうした人間ならではの「感覚」こそが、とても大きな力を持っています。数字には表れない“気づき”を大切にできる人は、相手の力を引き出し、成長を支える存在になれます。

そして、これからの時代に求められるのは、AIやデジタル技術によるデータを理解して使いこなす力と、人の心や身体に寄り添う「感性」の“両方”です。

ぜひ、本学での学びを通して、その両方を伸ばして行ってください。

仲間と一緒に挑戦し、時には失敗することもあるでしょう。でも、その経験のすべてが皆さんの力になります。ここで過ごす四年間は、皆さんの未来を形づくる大切な時間です。

教職員一同、皆さんが安心して学び、成長できるよう全力でサポートしていきます。これから始まる大学生活が、皆さんにとって実り多いものになることを願っています。

本日は、誠におめでとうございます。

令和8年4月3日
日本女子体育大学
学長 小海 隆樹